

2020年6月3日  
株式会社博報堂メディカル

**仮想空間で医師同士がディスカッションできる製薬会社向けサービス  
「博報堂メディカル VR ダイブ」の提供を開始  
～遠隔地でも一体感のあるコミュニケーションを実現～**

株式会社博報堂メディカル（東京都港区、代表取締役社長：西松幸彦）は、このたびバーチャル・リアリティ（VR）機器を用いて、製薬会社主催の講演会や討論会を実施できる製薬会社向けサービス「博報堂メディカル VR ダイブ」の提供を開始いたしました。

博報堂メディカル VR ダイブは、数名～10名程度の医師や製薬会社のMR（医薬情報担当者）が仮想現実のカンファレンスルームにVR機器を使用して参加し、まるでその場にいるような感覚でコミュニケーション可能な空間を提供するサービスです。

臓器や細胞、医薬品分子構造などの立体CGを表示可能なVR空間を介して、従来のリアルな講演会や討論会とほぼ同等の情報交換の機会を医師の皆様を提供する事で、医薬品の適正使用情報やマーケティングメッセージの伝達と、様々な移動関連コストの低減が期待されます。

また、当サービスの実施に際して、VR機器の発送・回収・消毒、簡単にセットアップするためのサポート資料の提供、開催当日のフォローアップなどのオペレーション業務は博報堂メディカルがワンパッケージで対応し、スムーズな運用を実現します。



昨今では、医療機関の訪問規制や MR 活動などの制限により、医療者の方々へ必要な医薬品情報が届きにくい状況となっております。一方、製薬会社には薬剤の適正使用に関する情報を医療者に伝える社会的な役割があります。博報堂メディカル VR ダイブは場所にとらわれることなく参加者同士の直接接触を減らすことで感染症リスクを下げ、医療者の皆様と製薬会社間のコミュニケーションを実現する手段の一つとして、貢献できると考えております。



実際に、当サービス開発の妥当性を検証した複数のテストでは、ご参加頂いた医師から良好な反応を頂いており、「近くで話しているようなリアリティがある」「集中できて学習が深まる」「外出しなくても良い」「薬剤デバイスの操作などを理解しやすい」といった感想を得ています。なお、当サービスは一部の大手製薬会社様に、採用いただいております。

VR は Face to Face とテレビ会議の間をつなぐ、まったく新しいコミュニケーションスタイルです

### 【活用イメージ①講演会】

遠隔地にいる国内外の著名医師（KOL:Key Opinion Leader）1 名を講師として招聘した講演会を実施し、各地の医師（AOL :Area Opinion Leader）複数名を VR 空間にご招待。質疑応答や意見交換にご活用頂く。

### 【活用イメージ②WEB 講演会への発信】

複数の著名医師による議論や症例検討会を VR 空間内で実施し、その様子を WEB 講演会で全国配信。WEB 講演会後は一部の視聴医師を VR 空間内にお招きし、著名医師との質疑応答にご活用頂く。

### 【活用イメージ③新薬・新デバイス説明会】

大学病院の医師と、近隣や関連施設の医師ら複数名を VR 空間にお招きし、新薬の説明会を実施。担当 MR が新薬や薬デバイスの操作方法などについて説明を行い、説明会後は MR を交えてディスカッション。

博報堂グループのフィロソフィーは「生活者発想」です。博報堂メディカルは、今後も生活者発想で、医師をはじめとした医療業界の皆様のコミュニケーションの最大化に貢献してまいります。

### 【本件に対するお問い合わせ先】

博報堂メディカル VR ダイブ担当

メールリングリスト： [infovr@hakuodo-medical.co.jp](mailto:infovr@hakuodo-medical.co.jp)

### 【会社概要】

株式会社博報堂メディカル

所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂 6-1-20 国際新赤坂ビル西館 8F

事業内容：医療用医薬品を対象とした専門広告会社。事業、領域、製品ビジョン策定やブランディング、マーケティング戦略立案、医師・生活者調査、メッセージ開発などの戦略構築から、製品情報概要など医師向け資料、学会速報、Web サイト構築、メディア施策等

ホームページ：<http://www.hakuodo-medical.co.jp/>